

院内敷地内

禁煙のお知らせ

受動喫煙対策を強化する「改正健康増進法」が2019年7月1日より施行され、医療機関などの特定施設は敷地内禁煙となりました。

これにともない、当院も病院敷地内を全面禁煙とさせて頂きました。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



敷地内禁煙



禁煙にご協力下さい。

外来診療のご案内

診療時間／午前8時30分～午後0時00分

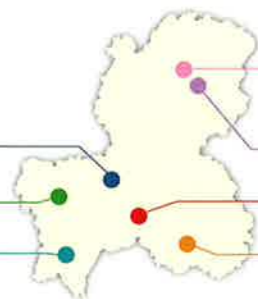
	月	火	水	木	金
担当医	西野 (内科)	五藤 (整形外科)	西野 (内科)	五藤 (整形外科)	西野 (内科)

- 担当医が変更する場合は、待合室に掲示してお知らせします。
- リハビリテーション科では入院患者さんにとって在宅等に向けての大切な訓練の場です。「通所リハビリテーション」でもリハビリを積極的に行っています。利用を希望される方はご相談ください。
- 入院について詳しいことは、受付・会計(医事課)、地域連携室にお問い合わせください。

詳しくは会計窓口までお尋ねください。 ☎0577-32-1900

岐阜県厚生連病院所在地

岐阜北厚生病院	山県市高富
揖斐厚生病院	揖斐郡揖斐川町
西美濃厚生病院	養老郡養老町



久美愛厚生病院	高山市中切町
高山厚生病院	高山市山口町
中濃厚生病院	関市若草通
東濃厚生病院	瑞浪市土岐町

看護師
介護士
募集中



25600枚の小さなシールで彩られた点描画(通所リハビリ共同作品)

たかやま
こうせい

Vol.51
令和元年9月発行
JA岐阜厚生連
飛騨医療センター
高山厚生病院

病院の夏物語



8月4日(日)に毎年恒例の夏祭りが開催されました。今年も天候の都合により屋内で行いました。職員による神輿担ぎでスタートし、四神太鼓による迫力のある演奏、坪内流の皆さんの三味線の生演奏と江名子小学校飛騨やんさクラブの唄声に合わせて踊った飛騨やんさ。飛騨やんさでは多くの入院患者さんやご家族の方が踊りの輪に参加して頂き、活気にあふれ、大いに盛り上がりました。

今年も山野流砂原直子着教室の方にお手伝い頂き浴衣を着られた患者さんもいらっしゃいました。また通称'あさがお'も復活し、華やかな朝顔と共に皆さんの浴衣姿が病院の夏に色を添えてくれました。ご協力頂きました皆様方には感謝申し上げます。

8月からは外国人技能実習生が採用され、まだまだ病院は熱気に包まれます。これからも皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。実習生は次回号で詳しく紹介いたします。



食べることの支援

当院に入院されている患者さんは、口から食べることに何かしらの支援の必要な方が多いため、安全に食事を食べて頂くために、入院時から言語聴覚士(食べることの専門)が以下の6項目の視点から関わり、常に誰が食事介助を行っても統一した食事援助ができるように努めています。



歯や義歯の有無を確認し、食事の食べ方や介助の方法を確認します。
食事介助が必要な場合は言語聴覚士・看護師・介護士が行います。

一般的に使用されているとろみの形態は3段階ですが、当院では安全を考慮して5段階+ゼリーで対応させて頂いています。とろみの形態については言語聴覚士が患者さんの飲み込みの具合により判断をし、介護士・調理師が主に作成しています。

病院の食事は医師が「食事箋」により指示し、管理栄養士が立てた献立に基づき調理師が調理します

主食・副食は食べること(摂食)や飲み込み(嚥下)に応じて食べやすさの形態を調べています。

【副食の内容の例】

摂食・嚥下に特に問題のない場合
そのままの形で提供



普通食

噛むことが難しいが、嚥下は特に問題のない場合
歯茎で噛める固さに成形



ソフト食

噛むことや嚥下に問題がある場合
ペースト状に成型



ペースト食

噛むことや嚥下に問題があり、口のなかでうまくまとめれない場合
丸飲み込みができるゼリーに成形



ゼリー食

飲み込みの状態に合わせて、1口量を決めています。
食事介助が必要な場合は言語聴覚士・看護師・介護士が行います。

大スプーン (約 10cc)



小スプーン (約 6cc)



Kスプーン (約 3cc)



食事による誤嚥や逆流を防ぐため(肺炎予防)、食後の姿勢を調整します。
セッティングは、言語聴覚士・看護師・介護士が行います。



食事の姿勢は、患者さんの飲み込みの状態に合わせて「頭・首・体」を調整します。セッティングは、言語聴覚士・看護師・介護士が行います。



皆が同じようにとろみを作成できるようにとろみをつける粉の分量をスプーンで決めています

ここに示した内容は、皆が統一したケアが行えるよう「食事条件・嚥下評価表」を作成して行っています